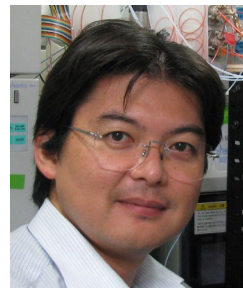


# 日本薬学会北陸支部特別講演会

演題 「アミノ酸の光学異性体識別分析を切り口とする新たな創薬・診断の展開」

講師 九州大学大学院薬学研究院 創薬育薬産学官連携分野 教授 浜瀬健司先生

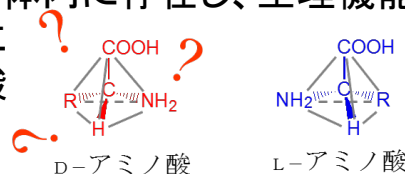


日時 令和2年1月21日(火)10時30分～12時

場所 富山大学杉谷キャンパス 薬学研究棟 セミナー室8

## 講演要旨

D-アミノ酸はL-アミノ酸の光学異性体である。つい一昔前まで、高等動物体内のアミノ酸は全てL体であるとされ、D体は存在しないと言われてきた。しかし分析技術の進歩と共に数多くのD-アミノ酸が哺乳類体内に存在し、生理機能を有すること、病気のマーカーになることが明らかにされてきた。本講演では、哺乳類におけるD-アミノ酸の分析法開発や機能解析の最先端を紹介する。



浜瀬健司先生 略歴 1996年 3月 東京大学大学院 薬学系研究科 博士課程 修了  
1996年 4月 九州大学薬学部 助手 (薬品分析化学分野)  
2001年 1月 九州大学大学院薬学研究院 助教授(生体分析化学分野)  
2016年 6月 同 教授(創薬育薬産学官連携分野)

ミニトーク

「生体試料における内在性D-アミノ酸の高選択的分析法開発と代謝酵素欠損に伴う含量変化」

講師: 石井千晴 (九州大学大学院薬学府創薬育薬産学官連携分野)

日時: 令和2年 1月21日(火) 13時～13時30分

場所: 薬学研究棟 セミナー室7

石井さんは、浜瀬研のD2の大学院生です。誰でも、参加可能です。

多くの方のご来聴をお待ちしております。

問い合わせ先

富山大学大学院医学薬学研究部・薬物治療学研究室  
新田淳美 (nitta@pha.u-toyama.ac.jp, 076-415-8822)

